

(1 F)

ご入学おめでとうございます！

大学生活が目前に迫っている中で期待と不安に胸を膨らませていることでしょう。そんなみなさんに銀杏寮生のある日の暮らしを時系列に紹介いたしましょう。

AM08:30：ICUの一年生たちを待ち受けている英語教育プログラム、通称 ELA は 1 時限目（8:50 から）に組まれていることが多く、早起きが苦手な私のような人にとっては第一の関門となります。そんな人たちに銀杏寮は救いの手を差し伸べてくれますよ。「ELA だ！行くぞ！」一年間で幾度となくその声が私の部屋には響きました。銀杏寮なら困った時どんな些細なことでもきっと誰かが助けてくれることでしょう。

AM09:30：朝からテレビでメジャーリーグ観戦も銀杏寮の日常。ちなみに彼は野球部の主将だね。隣はラグビー部主将に、陸上部主将。また、演劇や合唱に励む人も多く、「公演のチケット買わない？」と言われても、夜な夜な練習に励む姿を目の当たりにするとつい買ってしまい、公演中も銀杏寮の仲間の出番に釘付けになってしまいます。部活やサークルで頑張っている人が多い銀杏寮なら、互いに刺激を受けながら熱い話で盛り上がることもできるでしょう。

PM12:30：昼休み。食堂でテイクアウトしたご飯を片手にみんなで授業の話をしたりニュースを見たり。食堂でももちろんご飯を食べることもできるけど、ついついテイクアウトして寮で食べる人が多いです。銀杏寮なら、君たちの第二のおうちとしていつでも優しく出迎えてくれることでしょう。

PM19:00：授業が終わるとキッチンはいつも自炊をする人たちでいっぱい。みんなで集まって話をしていると、パスタを茹でる 7 分間ですらあつという間であり、時にはパスタを茹でていることすら忘れてしまいます。おや、今日はプリを丸々一匹さばいている人がいますね。彼曰く「みんなに築地で仕入れたこの美味しい魚を食べてほしいんや！」とのこと。そう、銀杏寮では自然発生的にみんなで手巻き寿司をしたりおでんを囲んだりするイベントが定期的に行われます。銀杏寮なら新たな友人たちとも驚異的なスピードで打ち解けることができるでしょう。

ここまで銀杏寮の 1 日を皆さんに紹介しました。おそらく皆さんは一つ疑問に思ったのではないのでしょうか。銀杏寮の人っていつも集まってどんな話をしているのだろうか。その疑問に答える一つの鍵は多様性にあります。当然みんな考えには違いがあるし、いろんなバックグラウンドを抱えています。どんな話をしてもお互いの違いに気づかされるし、一つ屋根の下で暮らしていくとなると一層浮き彫りになります。でも対話を続けていくことでお互いの理解が進んでいくと銀杏寮のみんなは信じています。そのようにして醸成された関係性はとても強固なものとなり、退寮後も決して無くなることはありません。実際 OB や OG との関わりが強いのも銀杏寮の特色の一つです。新入生の皆さんと銀杏寮でともに対話できることを楽しみにしています。

銀杏寮 1 階 2 年 都雄飛(2015 春～)

元 1 階 Keita Chris Harasaki(2015 秋～2016 春)

(2 F)

ご入学おめでとうございます！これから始まる新生活にわくわく、どきどきしていると思います。もしかしたら不安でいっぱいかもしれませんが、でも大丈夫！これだけは自信を持って言えます。I C U でひとりぼっちになることなんてありえません。特に寮生は！ ……ここで早速寮をプッシュするワードが飛び出してしまいましたが、ホントのホントに愉快なところなのです。寮生活の愉快さは後述するとして、まずは私の住む銀杏寮についてご説明しようと思います。

■居室

各階には3つのポッド（部屋の集合）があり、1つのポッドにつき7つの2人部屋があります。机、ベッド、たっぷり収納できる3つの棚が備え付けられているので、家具を買う手間はありません。部屋の真ん中を仕切るようにコルクボード付きの壁と本棚があり、お互いのプライバシーはある程度守れるようになっています。また、ルームメイト（I C Uではルーミーと呼ばれている）はアンケート結果に基づき、趣味や生活習慣の似ているひとが割り振られます。新入生の場合は、入寮前にアンケートを提出していただいています。基本的に学年の違うひととなるよう配慮されているので、新入生の皆さんは上級生のサポートを受けることができます。私も単位やメジャー、留学、サークルについてたくさんアドバイスをもらい、とても心強かったです。毎学期部屋替えが行われるので、1年に3人とルーミーになることができます。ルーミーとは特に仲を深めることができるので、楽しみにしててください。

■シャワー、トイレ、洗面所

各ポッドにシャワーが3つ、トイレが4つ、洗面台が3つ付いています。業者の方が掃除をしてくださるので、いつでもびびびかです。音姫（！）もついています。

■キッチン

各階にひとつキッチンがあります。IHコンロが4つあり、魚焼きグリルもあります。オーブン付き電子レンジ、炊飯器、調理器具と設備はとても充実しており、大抵のものは作れます。お皿やコップもあります。

各ポッドに2つずつ共有の冷蔵庫があるのですが、キッチンにもひとつあり、作り置きや野菜などを入れることができます。ただし、基本的に食材や調味料は自分のものを用意してはなりません。

■物干し場、洗濯機、乾燥機

屋根付きの物干し場があります。雨が降ってきても、家にダッシュする必要がないというのはありがたいことです。

洗濯機と乾燥機も各階に3つずつ用意されています。洗剤と、それから洗濯カゴを用意することをおすすめします。次に使う人が、置かれているカゴに中の洗濯物をどかすことができるからです。

■ソーシャル

寮の共有スペースを「ソーシャル」と呼んでいます。テレビとソファがあり、気ままに過ごすことができます。友達と映画を観たり、家族と電話をしたり、筋トレをしたり……新入生歓迎パーティや、寮を出るひとのキックアウトパーティもそこで行われます。月に一度、寮全体で集まる「寮会」のあとは、その階の住民が全員集まる「フロアミーティング（フロアミ）」を行い寮生活についてのお知らせや話し合いをするので、語り合いの場ともいえるでしょう。

各フロアだけではなく、寮生全体の共有スペースもあります。他のフロアの人とも交流を深めてくださいね。

■スタディ

キッチンの横にある、勉強用スペースです。ホワイトボードと机が4つ、椅子が8つあります。各学期の終盤に差し掛かると皆ここに集まり、共戦します。

■寮での生活

さて、寮にどんな物があるかは分かったかと思います。もし不安なことがあれば、ルーミーが入寮前に連絡するので、遠慮せずに尋ねてください。

ここからは私たちがどんな生活をしているかをご紹介します。

まずは寮の運営システムです。毎月1度、全員参加必須の寮会が開かれ、新しい制度のアナウンスや、注意喚起、サークルの宣伝などを行います。また、そのあとには階ごとにフロアミーティングを行います。基本的に日本語と英語の2か国語で進行します。

各階で回す「デューティ」というシステムも重要です。毎日1つの部屋の住人が、キッチンの清掃を行います。住民全員で協力し、快適な共同生活を運営していく試みのひとつです。

寮全体でのイベントも忘れてはなりません。新入生はまず、「イニシエーション（イニシエ）」に参加します。各寮でテーマを決め、1週間仮装をして授業にでます。そして最終日に全員で、昼休みにダンスを披露します。これで一年生どうしの距離がぐっと近くなります。寮生以外と話す会話のきっかけにもなります。6月と2月には寮対抗サッカー大会「岡田杯」、10月には様々なイベントをI C Uの寮全体で行う「寮祭」があります。10分程度の演劇作品を作って競う演芸会は必見です。I C U生活あるある満載の芝居でお腹がよじれること間違いなし！

しかし、なんといっても、寮生活の醍醐味は「人」でしょう。入学したころ、私は不安でいっぱい、何度も心細い思いをしました。大学は楽しいけれど、打ちめられるようなこともたくさんあります。そんな時、いつもそばに友達がいてくれました。帰って来た時に誰かが「おかえり」と言ってくれることが、どんなに嬉しいことか。管理人さんの笑顔にも、いつもほっとさせられます。寮は、私の家なのです。

これから、いろんなものがガラリと変わると思います。生活はもちろん、友人関係や興味、ものの考え方、将来の進路。辛いこともあるでしょう。だからこそ、私は強く寮をおすすめします。寮が支えてくれること、また、寮から広がっていくことがとても多いからです。それでは、あなたのI C Uライフが充実したものになることをお祈りしています。

銀杏寮2階 石田優希子

(3F)

新入生のみなさん、こんにちは！私は銀杏寮に入寮して本当に良かったと心の底から思っているので、みなさんにも寮生活をおすすめします！！そこで、私が住んでいる銀杏寮がどんなところなのかをご紹介します。きっとこれを読んだら、みなさんも銀杏寮に入りたくなるかもしれませんね！

銀杏寮をひとことと言うと、いつでもあたたかくて、帰りたくなるような安心する場所です。寮生同士「行ってらっしゃい」「おかえり」と声を掛け合うときは、まるで自分の家のように感じます。玄関脇には管理人さん夫妻が常駐していて、寮内外の清掃や設備の管理など様々な側面で私たちを助けてくださいます。それだけでなく、サークルの発表会足を運んでくださったり、や寮のイベントでたくさん写真を撮ってくださったり、寮生のことをまるで娘や息子のように応援してくださいます。私たちはいつも優しい管理人さんが大好きです。

悲しいことがあっても、ソーシャルと呼ばれるフロアごとにあるリビングで友達に悩みを聞いてもらえます。夜遅くまで終わらない課題や、テスト期間の猛勉強もスタディールームでみんなと一緒に頑張れるし、自室に戻れば自分だけの机で勉強することもできます。お腹が空いたら広い共有キッチンでわいわいおしゃべりしながらお料理をするもよし、玄関を出て徒歩3秒の食堂に行くもよしです。みんなで楽しく過ごす時間も、一人でゆっくり過ごす時間も大切にしている寮なので、その日の自分に合った生活ができるのが銀杏寮のいいところです。

また、通学時間がほぼゼロなので、浮いた時間を使って学内外の様々な活動に尽力している人がとても多いです。もちろん勉強が第一ですが、サークルやボランティア、アルバイト、インターンシップ、就活など、個人が各々の分野で一生懸命活動しています。

それぞれ頑張ることは違えど、お互いに刺激を受けたり影響を与えたりしています。仲間が活躍する姿をみて、きっとあなたもやる気がどんどん湧いてくることでしょう。

しかし、寮はただ楽しいだけの場所ではありません。ICUの学生寮は、学生が共同生活を通して人間的に成長するための場所でもあります。月に一度行われる寮全体の寮会と、階ごとのフロアミーティングでは、より良い寮生活を送るための話し合いを全員でします。他にも、デューティーと呼ばれる清掃当番や、自分が担当する係の仕事を通して、共同生活にふさわしい環境を協力して作り上げています。加えて、ここに集まるのは育った環境がまったく違う学生たちです。年齢や性格だけでなく言語や国籍、文化、宗教も異なる学生と共に暮らすと新しい発見がたくさんあります。海外の料理を教えてもらったり、政治に対する考えを語り合ったりと刺激的な毎日です。

とはいえ、「寮生活ってなんか不安だなあ」と思っている人も多いのではないのでしょうか？「ちゃんと自炊できるかな？」大丈夫です！近所にはスーパー、寮には綺麗で広いキッチンがあります。もしお料理が苦手なら、学生食堂は朝から晩まで使えますし、一歩キャンパスをでれば飲食店もたくさんあります。「二人部屋ってなんだか居心地悪そうだな」そんなことはありません！はじめのうちは先輩がルームメイトになりますが、年齢は関係なく楽しく過ごしています。わからないこともなんでも聞けるのでとても助かっています。「当番とかめんどくさそう」めんどくさくありません！一人暮らしをしたら全部自分一人でやることを分担しているので、むしろ負担は少ないです。他にも様々な不安があるかもしれませんが、みんなで助け合えば大抵のことはへっちゃらです！

私のICUライフがこんなにも充実しているのは、学校の友達に加えて、寮の仲間、管理人さん、入寮させてくれた両親のおかげだと思っています。24時間のうち半分以上の時間を過ごしている銀杏寮なくて、今の生活はありえません！私たち銀杏寮の住人は、かけがえのない大学生活を送りたいと思っているあなた、そう、今これを読んでいるあなたが、ここ銀杏寮に入寮する日を楽しみにしています。

銀杏寮 3階 1年生 住川七夢



銀杏寮 全体



1階



2階



3階



ソーシャルルーム